

**2021 年持続化経営が軸となる
経営レポート@行政書士田中事務所**

第一号 SDGs

～はじめに～
行政書士田中裕己の紹介

興味を持ったことに対し、とことん調べることが好きです。

著名人の相関関係、歴史的な出来事の背景や意義、企業の資本関係、在京放送局と地方局とのネットワーク関係、オカルトチックだけどロマンのある伝説、等々・・・

挙げればきりがありませんが、ひとたび調べ始めると、関連情報まで拾い上げて、他のことにはわき目も振らず、どんどん掘り下げていく傾向があります。

鉄道という分野もまた、興味のあることのひとつ。

いわゆる「鉄ちゃん」の端くれですが、「乗り鉄」とか「撮り鉄」とかいう区分はあまり当てはまらず、やはり「調べることが好き」ということになるかと。

幼少の頃に通っていた保育所が国鉄の駅の裏手にあったことから、構内での貨車の入れ替えの様子を日常的に目にしておりました。

その風景画が面白くて、遊ぶのそっちのけで、一心に見入ってしまうことが多々ありました。

そんなときはよく、

「貨物列車はどこから来てどこへ行くのだろう？」

「貨車の中身はなんだろう？」

「車掌車の中で車掌さんは何かすることあるのかな？何人かで麻雀とかやっていたりして」(笑)

などと、よくある疑問から風変わりな空想まで、頭の中で思い巡らせておりました。

やがて大学生になった頃、年を重ねるごとに少しずつ膨らんでいた鉄道全般に関する「知りたい欲」が、一気に噴出。

東京・神保町の本屋で専門書を買いかさったり、都立図書館で持出禁止となっている専門雑誌のバックナンバーを手にしては片っ端からコピーをとりファイリングしたり。

路線や列車の生い立ちや車両配備の履歴など、歴史的な部分にフォーカスして、幼少の頃同様、一心に調べまくりました。

インターネット検索が一般的となる少し前のことです。

なぜ？なぜ？なぜ？なぜ？・・・

自分自身で腑に落ちるまで調べて、考えて。

その間は【一意専心】【一転集中】。

そのようなスタイルを、長い間貫いてきたのだと自覚しています。

私の中心業務である法人設立や許認可支援の場面においても、同様の姿勢で取り組ませております。

業務内容の難易に関わらず、お客さまの望む結果にうまく着地できるよう、精度を上げていく努力を絶えず続けてまいります。

～SDGs が世界にイノベーションを起こす！～

2015年の国連サミットで採択されたSDGs＝持続可能な開発目標には国際社会が2030年までに実現すべき17の目標と、そこに数値目標を加えて具体化した169のターゲットが示されています。

コロナが起これ世界的に環境を考える流れが加速した中、投資家はSDGsを従来のCSRとは異なり、SDGsを実践することが会社として評価に値する判断材料として捉え、自社の利益追求だけでなく、公共の利益に資する活動をする会社を評価し始めています。

持続化経営の軸とは、自社の企業理念に照らし合わせた上で共通項を見出し、そこからイノベーションを起こし、他社とは一線を画する商品やサービスを生み出す経営手法です。

<SDGsはルールを設けていない！！>

SDGsが画期的なのは人類の普遍的な目標を掲げながら、そこにルールを設けず、アクションをすればよいという点です。

持続可能な手法で生産し、商品やサービスを生み出し、それを提供することで消費を実現し、利益を生み出せば、それは持続化経営となります。

<行政書士田中事務所が考える持続化経営とは？>

・少子高齢化の日本で可能な持続化経営
＝人口減でも成り立つ地方での少量生産・少量販売のビジネスモデルの構築

持続化経営を成り立たせるオペレーションとは？

1>>地方でビジネス醸成によるメンテナンスコスト削減
・・・固定費圧縮

2>>設備投資や雇用拡大しないメンテナンスコスト削減
・・・変動費圧縮

1・2を実現しつつ、売上を獲得するために関係人口（地域のファン）増が不可欠
そのために

SDGs 12のアクションによる、ここにしかない商品やサービスを生み出し、顧客開拓から商品開発、販売まで地域内で完結させ、顧客が売り手にもなり、売り手が買い手にもなる循環型ビジネスモデルをつくる

※自前による顧客開拓⇒販管費をかけない＝地元の知り合いから購入

<SDGs 12のアクション>



1. 貧困をなくそう
あらゆる場所で、あらゆる形態の貧困に終止符を打つ



4. 質の高い教育をみんなに
すべての人に包摂的(※)かつ公平で質の高い教育を提供し、生涯学習の機会を促進する



2. 飢餓をゼロに
飢餓に終止符を打ち、食料の安定確保と栄養状態の改善を達成するとともに、持続可能な農業を推進する



5. ジェンダー平等を実現しよう
ジェンダーの平等を達成し、すべての女性と女児のエンパワーメントを図る



3. すべての人に健康と福祉を
あらゆる年齢のすべての人の健康的な生活を確保し、福祉を推進する



6. 安全な水とトイレを世界中に
すべての人に水と衛生へのアクセスと持続可能な管理を確保する



7. エネルギーをみんなにそしてクリーンに
すべての人々に手ごろで信頼でき、持続可能かつ近代的なエネルギーへのアクセスを確保する



10. 人や国の不平等をなくそう
国内および国家間の格差を是正する



8. 働きがいも経済成長も
すべての人のための持続的、包摂的かつ持続可能な経済成長、生産的な完全雇用およびディーセント・ワーク(働きがいのある人間らしい仕事)を推進する



11. 住み続けられるまちづくりを
都市と人間の居住地を包摂的、安全、強靱かつ持続可能にする



9. 産業と技術革新の基盤をつくろう
強靱なインフラを整備し、包摂的で持続可能な産業化を推進するとともに、技術革新の拡大を図る



12. つくる責任 つかう責任
持続可能な消費と生産のパターンを確保する

SDGs 12のアクションによる、ここにしかない商品やサービスとは？

SDGs 12のアクションに沿った、エシカル、サステナブル、クラフト、アルチザン、ローカル、これら5つの要素のうち最低二つを加味した商品やサービスを生み出し、顧客に“ここにしかない”付加価値を提供することで、持続化経営をコンサルティングしていきます